学校番号	307

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数研出版「改訂版 社会と情報」						
副教材等	数研出版「改訂版社会と情報 サポートノート」 数研出版「ポイント整理情報モラル」						

1　担当者からのメッセージ

授業内容は、情報と情報技術について科学的な考え方を習得するための「座学」と，コンピュータを活用する能力を身につけるための「実習」の２種類。

「座学」では，社会における情報技術の役割や影響，また社会における情報を扱う人の役割や影響について理解し，情報社会をより良く生きる上で必要な知識，能力を身につける。

「実習」では，コンピュータの操作方法を学習しコンピュータを利用した問題解決，課題作成に取り組む。

授業は，基本的にＬＡＮ教室（コンピュータ教室）で行う。

コンピュータを利用するので，休み時間中に移動を行い，授業開始時にはコンピュータの起動を完了させておく。

教員の指示を聞かないと誤った操作をしてしまうことが多い。教員の話をしっかり聴き，授業に取り組む。

2　学習の到達目標

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解するとともに，情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得し，今日の情報社会を生きるための能力と態度を身につける。

思考力・判断力・表現力を，コンピュータを用いて効果的に発揮する能力を身につける。

パワーポイント実習、相互評価を通して、プレゼンテーション能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報社会に積極的に参画する態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度	・情報通信ネットワークを活用し様々な意見を提案し集約するための方法について考える力 ・問題解決に向けて、適切に情報機器や情報通信ネットワークなどを活用する力	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するための基礎･基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための基礎的な知識と技術および情報機器の特徴と役割についての理解 ・情報化が社会に及ぼす影響および望ましい情報社会の在り方、情報技術を適切に活用することの必要性についての理解
評価方法	学習状況の観察 問題集、プリントの記述 実習課題 相互評価 等	学習状況の観察 問題集、プリントの記述 定期考査の結果 相互評価 等	学習状況の観察 実習課題 実技テストの結果 等	学習状況の観察 問題集、プリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とメディア	情報とは	○	○		○	a: 通信技術の発達と情報の扱われ方について関心を持っている。 b: 情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 c: インターネット上の様々なサービスを利用して情報を検索するための技能を身につけている。 d: 様々なメディアの特徴を理解している。	授業観察 問題集 プリント 小テスト 実習課題 実技テスト 定期考査
		メディアとは	○	○		○		
		情報のディジタル化			○	○		
		インターネットの活用	○	○	○			
	情報社会と情報モラル	情報社会の光と影	○	○		○	a: 社会の情報化が生活に果たす役割と及ぼす影響に関心を持っている。 b: 情報技術、法や制度および人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c: 情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d: 情報化が人間に及ぼす影響について理解している。また、より良い情報社会を構築するための考え方や工夫について理解している。	
		情報セキュリティの確保	○	○	○	○		
		情報社会における 法と個人の責任	○	○		○		

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	ディジタル情報と情報の活用	コンピュータのしくみ	○			○	a:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 b:情報機器を用いて情報をディジタル化することができる。また、ディジタル化した情報を編集し、発信することができる。 c:効果的に情報を共有するため、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している。	授業観察 問題集 プリント 実習課題 実技テスト 定期考査
		情報のディジタル表現		○	○	○		
		情報の表現と伝達	○	○	○	○		
		プレゼンテーション	○		○	○		
	情報通信ネットワーク	コミュニケーション手段の発達	○	○		○	a: コミュニケーション手段として通信が発達してきた歴史に関心を持っている。 b: 情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c: 情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの選択をし、活用することができる。 d: プロトコルや情報伝達の仕組みについて、その利点と活用の際の注意点を理解している。	
		インターネットのしくみ			○	○		

	望ましい情報社会の構築	情報システムと人間	○		○	○	a: 問題解決の方法と手段について関心を持ち、問題解決に取り組もうとしている。 b: 人にとって利用しやすいユーザインタフェースはどのようなものか考え、その結果を適切に表現している。 c: 問題解決を行うために、情報機器を効果的に活用することができる。 d: 問題解決を行うためのプロセスを理解している。	
		問題解決	○		○			

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	情報モラル課題製作	PowerPoint による情報モラルについての課題制作	○	○	○	○	a: ネット上の様々な問題点、その対策方法について関心を持ち、個人の責任を果たそうとしている。 b: 情報化が人に及ぼしている様々な影響や問題、その対策について考え、その結果を適切に表現している。 c: インターネットやその他のメディア、情報機器を適切に活用し、利用することができる。 d: 情報化が人や社会に及ぼす影響と課題、その対策方法を理解し、インターネットやその他の情報機器を適切に活用する知識を身につけている。	授業観察 実習課題 相互評価 プリント

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。